



DNW-13003 の概要

課題番号 : DNW-13003

課題名 : がん細胞の酸化ストレス防御機構を標的とする新規抗がん剤の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

中別府 雄作 (国立大学法人九州大学生体防御医学研究所)

課題番号 DNW-13003 では、多くのがん細胞で亢進している酸化ストレスからがん細胞を防御している酸化ヌクレオチド分解酵素 X をターゲットとして、新たな抗がん剤の創出に取り組んでいる。

- 酵素 X はさまざまながん細胞で発現が亢進していることが報告されている。
- 酵素 X のノックアウトマウスを作製し phenotype を調べた結果、発育は正常であった。
- 中規模ライブラリーの high throughput screening を行った結果、知財化へ向けて合成展開可能な複数のリード化合物を取得した。
- これらの化合物の抗腫瘍効果を評価すると共に、その詳細な作用メカニズムの検討を行っている。
- 酵素 X と上記リードとの共結晶構造解析、in silico スクリーニングなどの最先端技術を組み合わせて化合物の最適化研究を行っている。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。